

須高農業振興会議で視察研修を行いました

9月1日、須高農業振興会議の活動の一環で、松本市の生産組合・行政機関、千曲市の民間企業への視察研修を実施しました。

須高農業振興会議は、須高地区の市町村・JAなどの関係機関・団体との連携を図り、多様な担い手の確保・育成、および地域農業の振興を目的として活動しています。

最初に松本市の「松本太郎果樹生産組合」を訪問し、代表の横山竜大氏のお話を伺いました。横山氏は自身の農園で独自の新規就農者研修を実施されているほか、耕作放棄地を仲間と整備して提供する等、市やJAと連携して大変ユニークな活動を精力的に行うことで多くの就農者を支援し、担い手の確保に尽力されています。

続いて、松本合同庁舎にて松本市農政課、JA松本ハイランド、松本農業農村支援センターと新規就農者支援についての情報交換を行いました。関係機関がそれぞれの支援策について説明し、抱える課題や今後の展望を含めて参加者の中で議論が交わされました。

最後に、千曲市の株式会社エイザックス様にて、農作物盗難防止のための防犯カメラについて紹介をしていただきました。現在、収穫期の農産物の盗難は大きな問題となっており、被害を未然に防ぐため、ほ場内に防犯カメラを設置する例が増えてきています。不審者への対応を強化するため、人間を判別するAIを搭載したタイプや暗闇の中でも撮影が可能なタイプを開発・販売しているほかレンタルサービスも行っているとのことでした。

研修全体を通して、担い手不足・盗難被害といったような現在の農業が抱える課題について、いかにして関係機関と連携を図って解決策を考えていくかを学ぶことができました。今回学んだことを今後の活動に活かし、須高地区の農業の発展に努めてまいります。

(地域第三係 酒井)



横山氏のお話を聞く参加者



防犯カメラの商品説明を受ける参加者